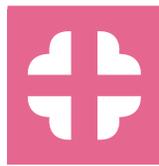


地域とつながる、つなげる、安心して安全な医療と介護の世界。

vol.019

PHOENIX NEWS



KOGA
COMMUNITY
HOSPITAL
NEWS



■ 特集：食の安全安心、食べる喜びは元気の源。

・メディカルフードセンター STCo.

- front line
甲賀 美智子 社会医療法人 駿甲会 理事長
甲賀 啓介 コミュニティーホスピタル甲賀病院院長
- new year greetings
副院長より新年のごあいさつ
- special issue ①
メディカルフードセンター STCo.
- special issue ②
糖尿病教育入院と地域連携
- topics & information
甲賀病院 文化祭開催、メディア対応、藤枝駅前クリニックに新しい診療科、他
- community lounge ● spirit of swift turtle

優しさは即席にできるものではなく、 経験を経なければ獲得できないことを十分認識しながら2021年に臨む。



社会医療法人 駿甲会 理事長 甲賀美智子

2020年はCOVID-19の蔓延により、かけがえのない一人一人の命が感染者X人、死亡者X人と云う様に数で表され、格差や人種差別、国家権力による人権の抑圧や殺人などが明らかになり、暗いニュースの多い1年間でした。

欧米ではすでにワクチンの接種も始まり、Covid19の終息も期待できそうになりました。感染拡大と経済的窮乏が天秤にかけられ、国の方針も一貫性を欠き、もう少し判断を現場に任せ、検査体制をしっかり組み立ててやるべきであったのかなと思います。貧困は分かち合うことができますが、死は分かち合うことができず、取り返しのつかない事だからです。治療薬に確実なものがないため、現場の混乱と困難は2021年も、続くと思われます。病める人達に知識の限りを尽くし、優しく接するのは当然のことですが、優しさは即席にできるものではなく、長い時間がかかり、自分もつらい思いや悲しい思いを経なければ、獲得できないものであることを十分認識して、自分は優しさや思いやりがまだ十分ではないのではと自問しながら患者さんに接しましょう。

今年度は、セントラルキッチンや藤枝駅前クリニックも本格的に始まり、介護職の研修生受け入れも本格的に始まります。職員一同、心を一つにして頑張っていきたいと思います。地球という美しい青い星に生きていることを忘れずに。

地域に真に必要とされる医療機関として、 変化に順応できる組織を構築していきたい。

皆さま健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中国・武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症は、依然として各都道府県で感染者が発生し続けており、その蔓延以前においても不安定であった病院経営に深刻なダメージを与えました。静岡県においても、投稿時点で延べ2,000人の感染が確認されており、2020年度の県内の医療費は前年対比7%（都道府県別では30位）の減少と報告されています。

これまで多くの医療機関は、医療施策制度の転換、人口構造や疾病構造の変化に伴う需要の変化、周辺医療機関における供給体制の変化など、様々な周辺環境要因に対応しながら運営を行ってきました。今後も周辺環境の変化が継続すると見込まれるなかで、新型コロナウイルス感染症という未知の要素が加わったことで、より迅速に変化へ対応することが求められることとなりました。新型コロナウイルス感染症が収束期を迎えた場合においても、地域にとって真に必要とされる医療機関として運営していくには、今何が重要なかを熟考し、変化に順応出来る組織を構築していきたいと思っています。



コミュニティホスピタル甲賀病院 院長 甲賀 啓介



明けましておめでとうございます。

昨年は未曾有のウイルス感染症という、我々医療者を含め多くの皆さんが勝手の違う日常を送ることとなり、戸惑う日々であったかと思います。

私が担当する一般・消化器外科分野では、昨年195件の手術を行いました。これは前年比30%ほどの増加です。時間外の緊急手術も一昨年25件から昨年45件に増加しました。COVID-19流行の真只中であっても、我々外科医は診療の歩みを止めることはいたしませんでした。新年になったからと言ってこの感染症の状況が急に好転するわけでもありません。しかし、怖がっているばかりでは何も前進しません。注意すべきことはこれまでと同様に十分な注意を払い、常に安全を心掛けて診療を進めていきたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

藤井 正一
コミュニティホスピタル甲賀病院 副院長

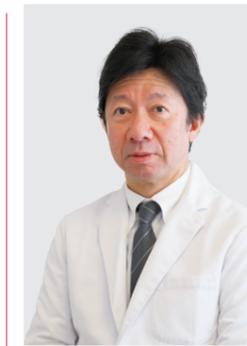


新年あけましておめでとうございます。2020年はCOVID-19パンデミックにより世界中が大変な一年でした。COVID-19に罹患された方だけでなく、経済的に大きな痛手を受けた方もたくさんいらっしゃいます。

2021年は、ワクチン接種も開始される予定であり、一日も早くパンデミックが収束し、希望の年になることを願っております。私たちは、地域の人々に質の高い医療・介護をご提供し、頼られる病院・施設であり続けられるように努力を続けたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

鈴宮 淳司
コミュニティホスピタル甲賀病院 副院長



明けましておめでとうございます。

昨年は常勤医が3人となりCOVID-19の影響もあまり関係なく手術件数も年間400にあと一歩という数になりました。内容も外傷、関節、脊椎とほぼほぼ整形外科の手術を網羅できるようになってまいりました。

今年はさらに飛躍できるよう、スタッフの充実をはかりより一層努力していきたいと考えます。今年が丑年ですが牛は大変な農業を最後まで手伝ってくれる働きからこの年は「我慢」「これから発展する前触れ」というような年になるといわれています。まさに今年はその年と思われる。

まさに今その時と思えます。みんなで力を合わせ希望に満ちた年になるようにがんばっていきます。

澤野 浩
コミュニティホスピタル甲賀病院 副院長



あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスによる医療崩壊ニュースに揺れ動き医療従事者にとって大変不安な試練の年でした。

診療・検査体制の確保、介護施設で発生した場合の対応、人材確保など、日本国内の医療施設どこをみても国や県との連携・支援を望む声であふれていました。直面する課題に独自の方策をもたなければ明日が保証されるものはどこにもなく、自院の努力だけではどうしようもない大きな波に飲み込まれて、短期間に劇的な変革を求められた病院や施設がありました。

そんな中であって私たち駿甲会では日頃の経営基盤を軸にあらゆる対応に対しスピーディに取り組んできました。各部門が情報を一元化することに努力し職員一人一人がそれぞれの役割意識を高く持って日常業務に当たったからだと思えます。

新年の幕開けも決して明るい話題に包まれているわけはありませんが、自らの心身を大切にしながら託された責任を果たせるよう、職員一丸となって業務に取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願致します。

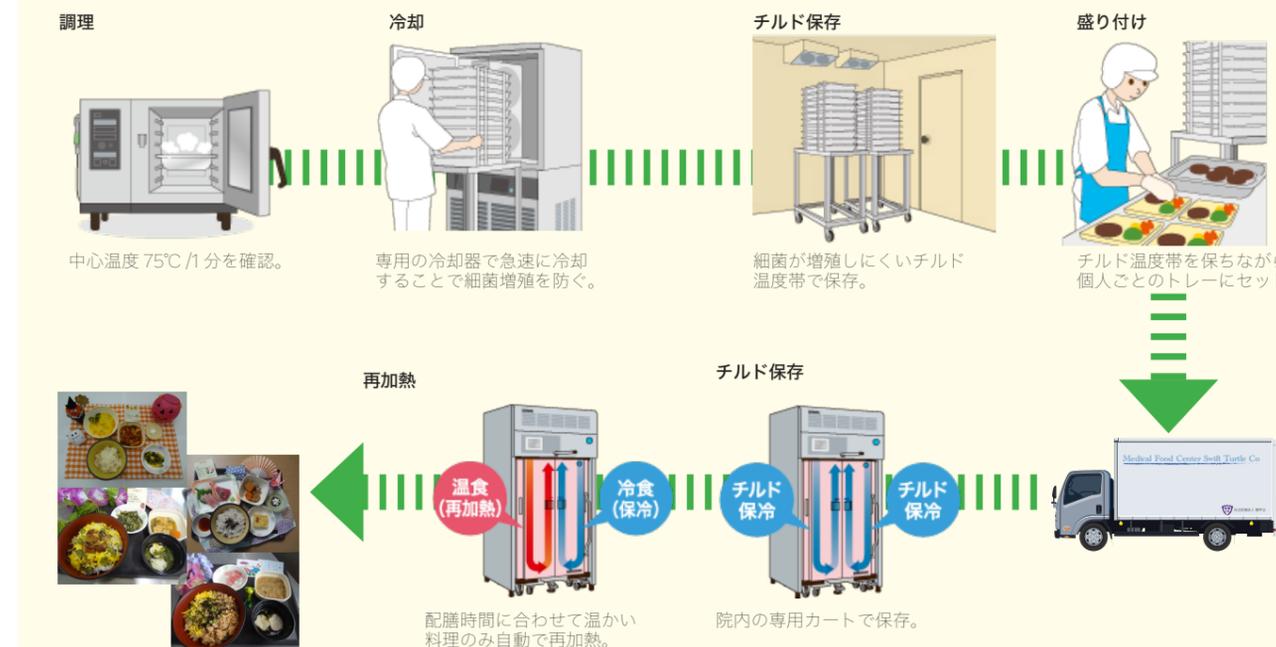
中島和美
コミュニティホスピタル甲賀病院 副院長

安心で安全、そしておいしい。食べる喜びは、健康の源。

メディカルフードセンター STCo.



ニュークックチルシステムを導入した食事提供までの流れ



2020年5月に開設したメディカルフードセンター STCo (MEDICAL FOOD CENTER SwiftTurtle Co.: 榛原郡吉田町片岡 770-1) は、新調理システムである「ニュークックチル方式」における院外調理システムを採用した、セントラルキッチンとなります。

現在は、コミュニティーホスピタル甲賀病院をはじめとし、コミュニティーケア高草・コミュニティーケア吉田・コミュニティーケア大井川と法人内の病院および老人保健施設(4施設分)の方々に向けて、1日当たり約1,800食を提供しています。

セントラルキッチン(説明記事内容同じ文書)化されることにより、4施設への食事内容が統一化され、入院患者様・施設入所者様・通所施設ご利用者様に同一サービスが提供することが出来るようになりました。

さらに、ニュークックチル方式を採用することで、従来よりもさらに食の安全性を高めることができました。

今までの食事サービスでは、加熱調理から食事提供までの温度管理に課題がありましたが、そのリスクを取り除くために、ニュークックチルの大きな特徴であ

る冷却機能を最大化する目的で、メディカルフードセンター内に大型急速冷却機を6台導入し、食中毒事故発生リスク(加熱料理後に60℃~10℃の温度を通過する時間)を大幅に抑制しております。さらに当センターでは、調理後の料理を、お皿に盛り付けるところからお膳セッティングまで、すべてを冷却状態で温度管理された室内で作業して、それを冷蔵車にて運搬し、各病院・施設にて合計38台設置してあります、再加熱専用機(再加熱カート)を活用することで、温かい食事を、安全で安心してお召し上がりいただける環境を実現させております。

また、使用している食材についても、地元の市場から新鮮な魚や野菜を仕入れることで、地産地消の推進にも積極的に取り組んでおります。

当メディカルフードセンター STCo. が取り組んでいる仕組み自体、全国でも導入事例が少なく、まだまだ取り組むべき課題は多く残されていますが、喫食者の方々に日々安心してお召し上がりいただくため、管理栄養士をはじめとした調理スタッフ・盛り付けや配送のパートスタッフと約50名を超える職員が丸となって頑張っております。

メディカルフードセンター工場長 本持 秀人



ニュークックチル
加熱作業以外の工程をチルド温度帯で作業する仕組み。



厨房
常時、30名以上の管理栄養士・栄養士・調理師・調理員が勤務。



ソーラーパネル
広大な施設屋根部分を活用し、発電設備を設置。



院内専用カート
病院/施設内でチルド状態の料理を再加熱して温かい状態で提供できます。

MEDICAL FOOD CENTER SwiftTurtle Co. 管理者:柴原 健人(COO)
住所: 421-0303 榛原郡吉田町片岡 770-1 電話: 0548-23-3155
敷地面積: 3655.53㎡ 工場面積: 1449.78㎡

忍び寄るサイレントキラーから、あなたを護りたい

糖尿病教育入院と地域連携

サイレントキラー（Silent Killer：忍び寄る殺し屋）、病気になっても初期にはそれとわかる症状が表れない（自覚できない）まま進行し、気がついた時には致命的な合併症を誘発する病気のことを言います。もともとは高血圧症を指す呼び方でしたが、昨今では脂質異常症、糖尿病などいわゆる生活習慣病全般が含まれます。中でも糖尿病。初期の糖尿病は自覚症状がほとんどなく、体の異常に気付いたときには、合併症を引き起こすほど深刻な状態までに進行していることがあります。ここでは、本院が積極的に取り組んでいる糖尿病対策の一環である、糖尿病教育入院とその連携パスについてご紹介しましょう。

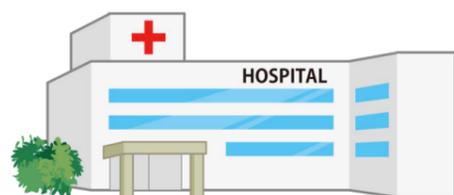
かかりつけ医との連携

当院では、皆様のかかりつけ医や、地域の医療機関と連携し、より専門的な治療を必要とする患者さんに対して最適な治療を受けていただける連携体制を敷いています。

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士など

多職種チームにより、薬物治療や食事療法、運動療法など様々な角度から療養指導を行います。

教育入院や治療を終えた患者さんには、これまで通りかかりつけの医療機関で継続した診療を受けていただけます。



診療所（かかりつけ医）

— 定期的管理 —

- ・薬の処方
- ・血液検査 / 尿検査
- ・日常生活の指導
- ・合併症の治療 など

患者さんの診察、検査、投薬を定期的に行う。

紹介

甲賀病院

— 精査・教育入院 —

- ・教育入院
- ・合併症の定期検査
- ・合併症発症への対応
- ・食事、療養指導 など

合併症検査、治療、コントロール、悪化時の治療などを行う。

逆紹介

担当医紹介

当院では、糖尿病専門医が2名おり、かかりつけ医と連携して患者さんの治療を行っています。院内では専門知識をもとに質の高い糖尿病の診療および患者さん

への指導を行っています。また、糖尿病診療チームのリーダーとして活動し、糖尿病対策における質の向上を図っています。



河盛 隆造

医学博士
糖尿病学会 専門医・指導医
先進糖尿病治療学講座 特任教授



甲賀 啓介

医学博士
糖尿病学会 専門医
総合内科 専門医・消化器内科 専門医

糖尿病教育入院

糖尿病は初期だと自覚症状があまり出ないのに放置してしまうことでたくさんの合併症を引き起こし日常生活にさまざまな影響を及ぼしてしまう厄介な病気です。そして、その糖尿病の治療の目的、それは、長年に渡っていい血糖値を保つことでさまざまな合併症を防ぎ、

健康な人と同じような日常生活を送っていただくことです。

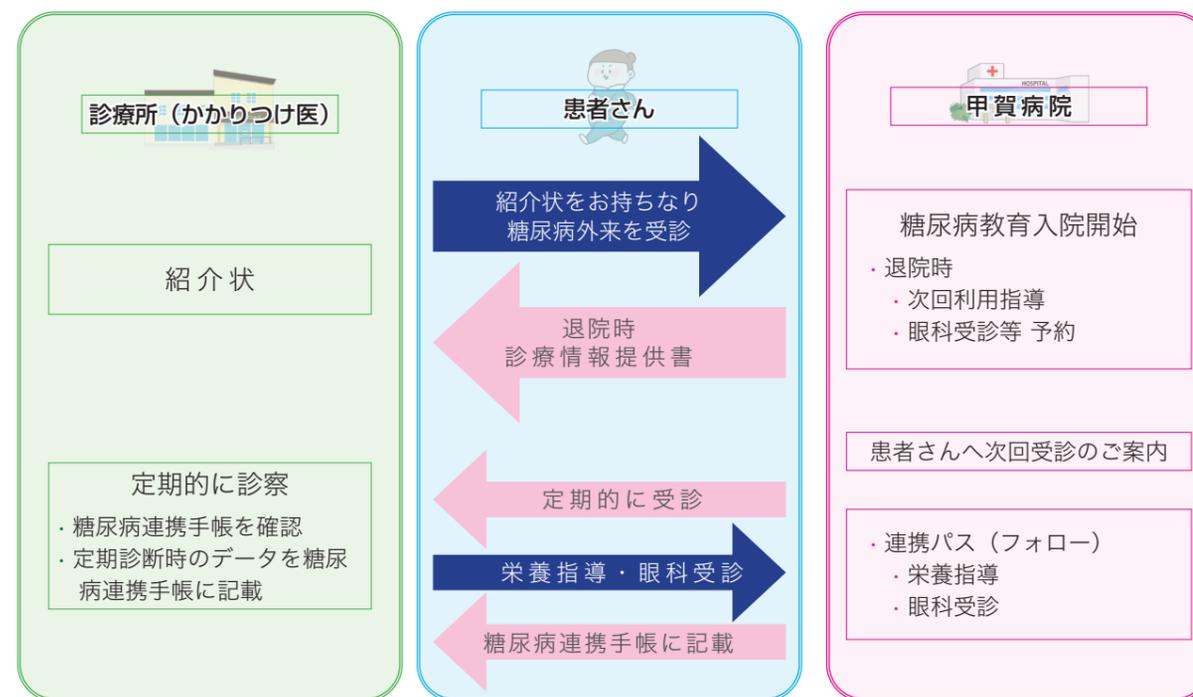
そこで、当院では患者様やご家族の方が糖尿病を正しく理解し自己管理していくことができることを目的に、この『糖尿病教育入院』を実施しています。

教育入院カリキュラム

	腎・血管・足を守る話	医師：糖尿病、合併症について 看護師：フットケア、口腔ケア、血糖コントロールについて
	食事の話	管理栄養士：食事指導について 歯科衛生士：口腔ケアについて
	運動の話	理学療法士：運動療法について
	お薬の話	薬剤師：投薬の必要性、効能、注意事項について
	検査の話	検査技士：血糖値、HbA1Cについて

*患者さんの病状や生活習慣にあわせて療養指導を行います。 *4日間、7日間の2種類のコースからお選びいただけます。

糖尿病教育入院の流れ



詳細は当院外来までお問い合わせください。
糖尿病外来 ☎054-628-5500 (代表)



イベント開催
恒例イベント「甲賀病院文化祭」開催

恒例の「第21回 甲賀病院文化祭」が、11月2日（月）より27日（金）までの約1ヵ月間にわたって当院F棟1Fロビーで開催されました。開催期間中は、様々な作品がF棟ロビーや廊下に盛大に並び、患者さんやそのご家族、利用者さんを楽しませてくれました。

最終日には「ファイナルセレモニー」が開催され、出展者の中から理事長賞や名誉院長賞、団体賞、個人賞、一般投票賞など各賞が選ばれました。

新型コロナウイルスの影響で私たちの生活は大きく変化し、外出を控える日々が続く中で楽しみを見出すようにコツコツ作品を作っている方もおられました。

毎年11月は、当院の「秋の風物詩」として文化祭が開催されます。来年も開催を予定しておりますので、自分の作品を患者さんやそのご家族に見ていただきたいという皆さん、来年の文化祭に是非作品をご出展ください。皆さんの力作を心よりお待ちしております。

ほんの一部ですが、力作揃いの中大いに悩まされて選ばれた受賞作品をご覧ください。



名誉院長賞



顔出しパネル。学童所いっしょの皆さんの作品。今年の顔、鬼滅の刃ですね。



実はちぎり絵なのです。自然な立体感、はまるで絵画のような秀作。



通所利用者が音楽療法の松村先生とのコラボで作詞を担当しました。



なんと綿棒1万8000本できているんです！

診療科追加
藤枝駅前クリニックに、耳鼻咽喉科と眼科

開設間もない藤枝駅前クリニックに新しい診療科が加わりました。これまでの内科、整形外科、ペインクリニック内科に加え、耳鼻咽喉科、眼科が増えたのです。耳鼻咽喉科の特徴として一般的な診療に加え、睡眠時無呼吸症候群の検査・治療ができることです。睡眠はとかく軽視されがちですが、健康を維持するためにとっても大切。皆さんの睡眠はいかがですか？

眼科担当医
小橋 英長
専門領域：眼科
学会活動：日本眼科学会（専門医）



びきが気になる方、起床時に疲れが取れていない方などはご相談ください。

一方、眼科では精密な検査・手術が必要になった際に、急性期医療を担う甲賀病院と連携し患者さんに安心して受診していただく体制を整えました。

甲賀病院への通院が大変な方は無料で送迎も行っておりますのでお気軽にご相談下さい。

耳鼻咽喉科担当医
西村 洋一
専門領域：耳鼻咽喉科
学会活動：日本耳鼻咽喉科学会（指導医・専門医）
日本睡眠学会（認定専門医）
インターナショナルスリープサージャリーソサエティメンバー



メディア対応
小瀬嗣子消化器内科医と甲賀啓介院長が、地元2大メディアの取材を受けました。

地域の医療にいかに関与できるか日々考え続ける当院ですが、メディア活動にも積極的にしています。この広報誌 Phoenix News での情報発信もそのひとつです。また、テレビや新聞等のメディアへの対応もできるだけ取材に応じています。

そんな中、消化器内科医の小瀬嗣子医師がTV取材を受けました。今回の取材はテレビ静岡「チョット！いいタイム」という番組。C型肝炎治療について説明をし、2020年11月13日（金）に放送されました。

C型肝炎は、「21世紀の国民病」と呼ばれており、肝がん・肝硬変の原因となる「慢性肝炎」の内約7割がC型肝炎患者となっています。最近では飲み薬での治療が可能で、後遺症がほとんどなく、公的な医療費補助も受けられるようになってきていますので、不安のある方は一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

10月28日（水）には、藤枝駅前クリニックで当院甲賀啓介院長と藤枝駅前クリニック磯部〇〇事務長が静岡新聞の取材を受けました。

藤枝市では、都市機能集中・充実させる目的で「市街地開発事業」を進めており、藤枝市の玄関口としての利便性の向上を考え、藤枝駅周辺の街づくりを進めています。

コンパクトシティ化を進めるうえで、医療は大変重要な基盤となるため、藤枝市も当法人の藤枝駅前クリニックの開設を喜んでくれています。

藤枝市の高齢化率は今後2040年には約35%となると言われており、複数の疾病を抱えた高齢者が多くなると予想されます。

藤枝駅前クリニックでは、そういった高齢者の方々の疾病に対応できるように、専門外来を設けています。引き続き住民の皆さんのご要望にお応えしながら、安心・安全な医療サービスの提供をしていきます。



たくさんの機材を前にインタビューに応じる小瀬医師。



膨大な資料をみながら、医療の視点から街のあり方を語り合いました。

子育て応援
どうぞお気軽にご利用ください。「あかちゃんえき」の登録申請受理され、B棟1階に設置。

この度、当院が焼津市「あかちゃんえき」に登録されました。

焼津市では親子が安心して気軽に外出できる環境を整え、子ども・子育てに優しいまちづくりを推進するため、乳幼児の授乳やおむつ変えができる場所を設置する事業に取り組んでいます。その場所・施設を「あかちゃんえき」と呼んでいます。

この「あかちゃんえき」は、現在焼津市内で66ヵ所と登録されており（R2.3.31現在）、当院ではこの取り組みに賛同し、あかちゃんえき登録を申請し、今回無事受理されました。

今後は「あかちゃんえき」登録施設として、院内に目印とポスターを掲示します。

当院ではB棟1階トイレが「あかちゃんえき」対象スペースになります。ご不明な点がある際にはお近くの職員にお声がけください。

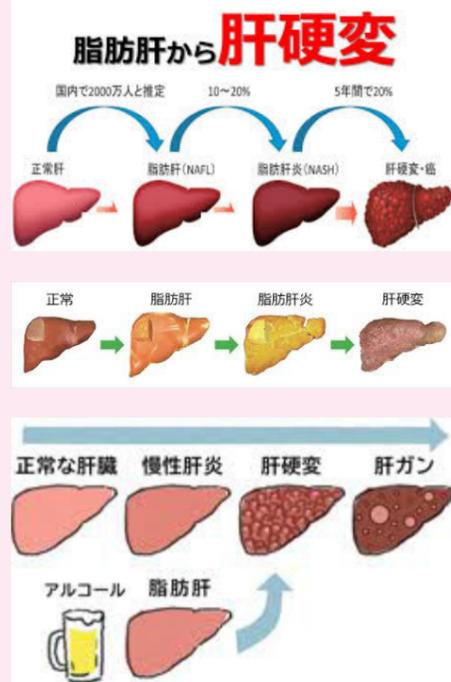


あかちゃんえきのポスター



運動不足で正月太り……、という方、大丈夫？

皆様、新年あけましておめでとうございます。
 年末年始は楽しいイベントが目白押しで、コロナ禍で外食は控えたものの、家で美味しいものをたくさん食べた方が多いかと思えます。また外へ出かける機会も減り、“運動不足で正月太り……”、なんて声も聞かれる時期です。
 「脂肪肝」という言葉を聞いたことがある方は多いと思います。これは文字通り肝臓に余分な脂肪が多く蓄積されている状態を指し、放っておくと肝炎や肝硬変に進行する危険性があります。ご自身が脂肪肝かどうかを調べるためには、やはり検査が重要になります。
 一般的には肝機能異常を確認するASTやALT、γ-GTPなどの数値を血液検査で調べ、さらに超音波検査による画像解析と合わせて脂肪肝の確認をしていきます。
 超音波検査は痛みもなく、放射線による被ばくもないことから健康診断でも非常に多く利用される検査です。ぜひ一度、セルフチェックのために超音波検査を受けてみてはいかがでしょうか。



←オリジナルのイラストありませんか？



自動車運転シミュレーター“Honda セーフティナビ”を導入しました。

「Honda セーフティナビ」とは、「認知」「判断」「操作」などの運転に関する複合的動作を測定するシステムで、リアルな運転環境（3画面出力）を体感しながら、「認知・判断に対する適応性」や「アクセル・ブレーキ操作の反応速度」を評価できます。
 数値化された測定データにより、神経心理学的検査との比較・評価をサポートし、脳血管疾患等を発症した方の自動車運転再開に向けた、専門的なリハビリテーションが行えるようになりました。
 自動車の運転が日常生活に及ぼす影響も大きく、在宅復帰・社会復帰を目指す上で重要だと考えます。今後も患者様の要望に応えられるよう、リハビリテーション科一同努力してまいります。



現在の医療に不可欠な、医療機器のスペシャリスト集団

インフルエンザ、風邪、ノロウイルス等の感染症が流行する季節になりました。これらの予防には手洗いが重要になってきます。
 平時であれば、多少の病原体が手についていても健康な人なら重篤な感染症を引き起こすことがないと考えられ、日常的な手洗い（流水、石けんでの手洗い）で十分でした。しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、衛生的な手洗い（流水、石けんでの手洗いにくわえ、エタノール含有消毒薬を用いた手指消毒）が必要となってきております。

タイミング:帰宅したとき、食事の前、トイレの後など。特に目に見える汚れがついている場合は石けんによる手洗いをしてから、エタノール含有消毒薬による消毒をしましょう。汚れたままだと、消毒薬の効果が低下してしまいます。
 適切な消毒薬の選択と、正しい手洗いの励行により、感染症を予防していきましょう。



We are

介護老人保健施設 コミュニティーケア 吉田 〒421-0216 榛原郡吉田町川尻1700-1 電話:0548(34)5577

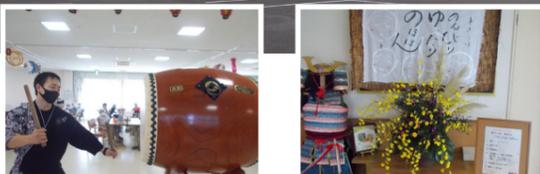
地域のおおらかで明るい雰囲気そのままに。
 心のふれあい、やさしさで笑顔あふれる日常を。



平成15年3月、介護老人保健施設コミュニティーケア吉田は、駿甲会の中で2つ目の介護老人保健施設として開設されました。

コミュニティーケア吉田は、大井川河口西岸に位置する人口約3万人の吉田町にあります。吉田町は、山川・海に恵まれ、漁業・農業が盛んでレタス、メロン、うなぎ、しらす、かりんとうが特産品として有名です。また、東名高速道路吉田インターがあり、大井川からの伏流水も豊富で工業も盛んです。隣の牧之原市・島田市にある富士山静岡空港が開港してからは、施設の真上を飛ぶ飛行機を毎日見ることができます。

私たちの施設は、医師と看護師、介護士、理学療法士や作業療法士、管理栄養士、介護支援専門員、支援相談員など多職種が連携をし介護老人保健施設としての特徴を活かしながら日々サービスを提供しています。利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら生活機能の維持・向上が図れるよう総合的な支援をしています。



入所: 定員100名(短期入所含む)
 (一般棟52名/認知症棟48名)
 通所: 定員50名

また、協力医療機関コミュニティーホスピタル甲賀病院と連携しながら、医療と介護の両面から利用者の生活を支援しています。

入所定員は、100名(短期入所含む)・通所定員は50名で運営をしています。通所リハビリでは、平成23年7月に延べ利用者数が10万人を、平成31年1月には20万人を超え、平成15年3月の開設から令和2年3月までの利用者数は、延べ216,204人となっています。入所についても、同期間に延べ601,767人(短期入所含む)の方が当施設を利用してくださいました。

利用者はもとより、その家族、職員も含め、地域のおおらかで明るい雰囲気をそのままにどんなことでも利用者・職員みんなが一緒になって楽しめるよう施設を運営してきました。これからも心のふれあいとやさしさで笑顔あふれる日常を提供できるよう、職員一同努力を重ねていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

spirit of swift turtle



入所稼働率(%)		97.1	
通所リハ平均利用者数(人)		43.8	
平均介護度	入所	2.7	
	通所リハ	1.7	
男女比	入所	男性	24.3
		女性	75.7
	通所	男性	32.0
		女性	68.0

(2019年度実績)

藤枝駅前クリニック

必要な時には、オンライン診療で。 一般内科から多岐に亘る専門外来まで。 少し助かる長めの診療時間。



内科・専門外来

- ・一般内科・循環器・消化器・糖尿病・腎臓
- ・神経・血液・睡眠時無呼吸症候群

整形外科 リハビリテーション

ペインクリニック

耳鼻咽喉科 眼科

健康診断 予防接種 訪問診療 オンライン診療可

*お車でお越しの方は藤枝市営駐車場をご利用ください。無料チケットを差し上げます。

☎ 054 - 645 - 5545

診療担当医表

休診日：日曜日、祝日、土曜日午後

診療科	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
内科	9:00～12:00 受付終了 19:30	八木 (循環器)	八木 (循環器)	石井	石井	岡村	—	北村 純 (神経)
	14:00～17:00							
	17:00～20:00 受付終了 19:30	石井	石井	鈴宮 (血液)	石井	—	甲賀 (消化器・ 糖尿病)	—
整形外科	9:00～12:00 受付終了 11:30	鈴木	新谷	杉本	杉本	杉本	杉本	北村 大
	14:00～17:00 受付終了 16:30							
ペイン クリニック	14:00～17:00 受付終了 16:30	—	—	富江	富江	—	—	—
耳鼻咽喉科	9:00～12:00 受付終了 11:30	非常勤医師	非常勤医師	西村	—	西村	—	—
	14:00～17:00 受付終了 16:30							
眼科	9:00～12:00 受付終了 11:30	—	小橋 (第2・4週)	—	—	—	—	—
	14:00～17:00 受付終了 16:30	澤井 (第1週)						

*医師名の下にある()内は、担当する診療科以外に診察する専門外来となります。



社会医療法人 駿甲会



もっと詳細はコチラ ↑